

公民科「時事問題研究」授業実践紹介

授業者：山本 裕稀

学 年：3 年

単元名：模擬投票を通して、主権者としての自覚を持とう。

単元のねらい（7つのチカラ：職業とつなぐ力、考える力、自立する力）

- ①ニュースやインターネットなどをもとに、情報を取捨選択し、自分の考えをまとめることができる。
- ②まとめた自分の考えを、模擬投票を通して表現することができる。
- ③模擬投票とその後のまとめの活動を通して、主権者としての自覚を醸成することができる。

単元の流れとパフォーマンス課題

1. (1 時間目序盤)「10 月 25 日」という日付から岡山県知事選挙を想起させる。その後、選挙について知っていることをワークシートに記入させ、全体で発表し共有する。

3. (1 時間目後半)まとめた考えをもとに、配布された模擬投票用紙に自分が選んだ候補者の名前を記入させる。その際に、授業冒頭で確認したルールについて再確認させる。記入後、1 人ずつ前に来させ投票箱に記入した投票用紙を入れさせる。



2. (1 時間目中盤) 岡山県知事選挙立候補者について確認し、スクリーンで 2 名の候補者のニュースを見せ、その後 iPad で両候補者の主張や経歴などを調べさせ、投票するための自分の考えをまとめさせる。



4. (1 時間目まとめ) 昨年の参議院選挙の時の PR 動画を見せ、投票に行くことの大切さを伝える。その後、模擬投票をした感想と主権者について自分の考えを書かせ、全体で共有する。

パフォーマンス課題の評価

授業の理解度をはかるため、ワークシートに主権者について書かせる。まず、模擬投票をした感想を書き、その後、自分が主権者の 1 人であることを理解したことがわかるように、自分の意見を書く。

- ①模擬選挙のなかで自分がその候補者に投票した理由が明確に示せている。

単元を通して身につけてほしいこと

まず第一に、模擬選挙を通して、自分たちの投票が国や地方の政治を変え、動かすことができることを体験して欲しいです。その上で、18 歳を迎える生徒たちに、日本の主権者としての自覚を持たせ、人生を主体的に生きる公民的資質を養ってもらいたいと考えています。近々に岡山県知事選挙が開催されますので、まずはそこに行くことを勧めます。選挙に行くことは自由意志ではありますが、行くこと、投票することの大切さを、授業を通して感じてもらいたいと思います。

評価

観点	達成度 0	達成度 1	達成度 2	達成度 3
「知識・理解」 学習した範囲の内容	1点 の 25%以上の内容について、知識を身に付けていない。	2点 の 25%以上の内容について、知識を身に付けている。	3点 の 50%以上の内容について、知識を身に付けている。	4点 の 70%以上の内容について、知識を身に付けている。
「思考・判断・表現」 主権者として、自分の意見	1点 を、2行以上書けていない。なおかつ、模擬選挙の投票理由も示せていない。	2点 を、2行以上書けている。しかし、模擬選挙の投票理由が示せていない、もしくは漠然としている。	3点 を、3行以上書けている。その際、模擬選挙の投票理由も少なからず示せている。	4点 を、4行以上書けている。その際、模擬選挙の投票理由も明確に示せている。

①パフォーマンス課題に対する評価（100%）